

11/15

「人権の花」大空へ



「バイバイ」。児童たちの元気な声に送り出され、大空へ旅立った風船約230個。高木小学校(小林不佐子校長、103人)の児童たちが育てたサルビアなどの花の種と、メッセージがつるされた風船は、人権擁護協議会上益城分会などが、花を育てることを通して命の大切さなどを育てようという「人権の花運動」の一環で、毎年1校の小学校が選ばれて行われています。

11/14

お茶でインフルエンザ予防



上益城茶業青年会(橋本宇司会長)から、うがい用のお茶約43.5箱が町内小学校へ贈呈されました。これは、風邪やインフルエンザが流行する時期に、インフルエンザウイルスの活動を止める効果があるといわれている、お茶でうがいをして予防に役立ててもらおうと届けられているもので、今年で4回目になります。

11/12

防災に備えて



町カルチャーセンターで、上益城消防本部の消防車や救急車などが出動しての大規模な避難訓練が行われました。給湯室からの出火を想定して行われた訓練では、ホール内にいた若葉保育園園児を職員が避難誘導を行い、取り残された職員を消火隊と救助隊が突入し救出しました。本番さながらの訓練に園児たちは真剣な眼差しで見学していました。終了後は、職員を対象に消火訓練が行われました。

11/9

大会新記録



10月23日に開催された、上益城郡中学校総合体育大会駅伝競走大会。御船中学校(加藤敬之校長、436人)は、1区から1位に立つと、最終6区まで1位を守り、1時間2分41秒の大会新記録で益城路を完全制覇しました。11月9日に天草市で開催された、第57回県中学生駅伝競走大会には、郡の代表として出場し、各郡市を勝ち上がった26校中15位という結果でした。

11/27

役場の仕事を体験



役場の管理職を体験する「一日課長の日」が行われ、16人に辞令が交付されました。この企画は、行政を身近に感じてもらうことや町民視点からの内部改革を目的として、6年前に「一日女性課長の日」としてスタートし、昨年からは男性でも参加できるようになりました。辞令交付後、各課に配属されて業務説明、決裁書類の審査、予算編成説明会などを体験しました。

11/17

特殊な装具を身に着けた小学生



御船小学校(佐藤公一郎校長、308人)で、御船小ふれあいまつりが、御船高校生や地域住民の協力で行われました。児童たちは振る舞われたご汁を食べたあと、竹トンボや紙風船などの昔遊び、おじゃめ遊びなどを楽しみました。高齢者体験コーナーでは、全身に特殊な装具を身に着けた児童が、財布からお金を取り出すことや文字を書くことに悪戦苦闘していました。

11/14

おやくさん 薬師堂健康感謝祭



上野地区南田代第2区の仲良し妻で結成するウーマンサークルなでしこ会(明月ヤヨイ代表)を中心に、地域住民や上野保育園児が参加して、第10回薬師堂健康感謝祭が開催されました。日々健康で過ごせることに感謝して薬師堂に参拝後、集会所へ移動。園児の歌やダンス、地域の人達の多彩な演芸で盛り上がりました。薬師堂祭りは地域がつながる催しとなっているようです。

11/14

自分の感じたことをダンスで表現



袴野小学校(佐藤浩介校長、6人)で京都市の舞踏グループ「山海塾」の岩下徹さんのダンスワークショップが行われました。ワークショップは、みんなで創るみふね舞台の会、コミュニティーダンスグループK A舞R A、同小学校で企画。岩下さんの即興ダンスのあと、参加者全員で音楽や楽器の音を聴きながら自分が感じた型にはまらないダンスを表現しました。